

# 東葛支部会報

第12号

千葉工業同窓会東葛支部

2005年12月1日



▲小説「野菊の墓」の文学碑

## 第7回 東葛支部定期総会開催

東葛支部第7回定期総会を、去る6月12日(日)13時より、市川市八幡神社内にあります「八幡会館」にて、開催されました。

当日は、地球温暖化の影響か暑い日が続きましたが、来賓の方々及び会員を含め総勢58名の皆さんにお集りいただきました。

議題は、「平成16年度会務報告」「平成16年度決算報告及び監査結果報告」「平成17年度会務計画(案)」「平成17年度予算案」「東葛支部規約及び規約細則の一部改訂(案)」

「役員の一部改選の件(案)」の6議題でしたが、議事の結果いずれも賛成多数で承認されました。

続いて、安藤同窓会会長、宮越学校長、段木同窓会顧問の御祝辞を頂いた後、場所を八幡会館内の懇親会会場に移し、豊田さんの乾杯で懇親会が始まり、他8支部の紹介、エピソード、玉すだれ等の演技が披露され懇親会会場は最高潮。

最後に恒例の「検見川校歌」「津田沼校歌」「生実校歌」を熱唱して散会しました。



# ■ 第1号議案 平成16年度 会務報告

項番	年 月 日	実 施 内 容	実 施 場 所
1	16. 4. 4	千葉工業第19回同窓祭	千葉工業高校：食堂
2	11	外房支部定期総会	東 金：東金文化会館
3	18	東葛支部幹事会	高柳コミュニティーセンター
4	21	本部主催：ハイキング同好会	千葉市内名所、旧跡散策
5	22	本部主催：囲碁大会	西千葉：西千葉囲碁センター
6	5. 2	男の料理塾（発足会）	千 葉：福酔
7	9	京葉支部定期総会	船 橋：玉川旅館
8	9	本部常任幹事会	千葉工業高校：会議室
9	16	同窓会総会	千葉工業高校：会議室
10	18	千葉市3支部、外房支部主催ゴルフ大会	房総CC：大上コース
11	18	本部幹事会	千葉工業高校：会議室
12	23	市原市支部定期総会	五 井：サンブラザ市原
13	30	県外地区設立準備会	横 浜：東京ガス横浜倶楽部
14	6. 6	北総支部定期総会	成 田：メルキールホテル成田
15	13	東葛支部定期総会	本八幡：八幡会館
16	27	千葉市東支部定期総会	新千葉：平成館
17	7. 4	千葉市中支部定期総会	千 葉：ポートブラザちば
18	10	千葉西支部主催麻雀大会	千 葉：麻雀太郎
19	11	評議委員会	千葉工業高校：会議室
20	22	本部主催：囲碁大会	西千葉：西千葉囲碁センター
21	25	東葛支部幹事会	高柳コミュニティーセンター
22	8. 25	支部長連絡会議	新千葉：平成館
23	29	男の料理塾（焼肉）	千 葉：福酔
24	9. 2	東葛支部主催ゴルフ大会	千 葉：ミルフィーユGC
25	10	千葉市3支部主催研修会	県立産業会館・サッポロビール
26	10. 13	本部主催：第4回親善ゴルフ大会	房総CC：大上コース
27	17	東葛支部幹事会	高柳コミュニティーセンター
28	21	本部主催：囲碁大会	西千葉：西千葉囲碁センター
29	23	本部主催：麻雀大会	千 葉：麻雀太郎
30	11. 21	東葛支部ハイキング	梅ヶ瀬溪谷
31	27	本部常任幹事会	千葉工業高校：会議室
32	12. 2	本部主催：ハイキング同好会	奥多摩：三頭山ハイキング
33	4	東葛支部幹事会兼忘年会	上 野：ピア エキスプレス
34	21	千葉中支部主催：ゴルフ大会	房総CC：房総コース
35	17. 1. 20	本部主催：囲碁大会	西千葉：西千葉囲碁センター
36	2. 27	男の料理塾（あんこう鍋）	千 葉：福酔
37	3. 13	南総支部定期総会	木更津：木更津市民会館
38	27	東葛支部幹事会	高柳コミュニティーセンター



## ■第2号議案 平成16年度 決算報告

### ●収入の部

費 目	平成16年度予算(A)	平成16年度決算(B)	差 額 (B)-(A)	内 訳
前年度繰越金	5,081	5,081	0	
年 会 費	240,000	228,000	▲12,000	76名×3,000 (80名予定→76名)
本部助成金	124,000	177,000	53,000	5周年祝金 50,000 助成金 47,000 渉外助成金 80,000
寄 付 金	5,000	11,000	6,000	NTT千工会 9,000 芝田様 2,000
総会費(懇親会)	290,000	305,000	15,000	本部・各支部(29名) 東葛市部(31名)
雑 収 入	919	0	▲919	
合 計	665,000	726,081	61,081	

### ●支出の部

費 目	平成16年度予算(A)	平成16年度決算(B)	差 額 (B)-(A)	内 訳
総 会 費 (含懇親会費)	290,000	295,877	5,877	飲食代 252,475 資料・案内状 33,000
会報発行費	120,000	119,465	▲535	10号・11号 支部会報印刷代
名簿発行費	10,000	10,000	0	出来上り予定 平成17年度
会 議 費	10,000	11,270	1,270	幹事会(4回)、飲料 会場使用料
事務通信費	40,000	26,223	▲13,777	会報送付代、振込料 事務用品、ハガキ
渉 外 費	135,000	95,500	▲39,500	他支部定期総会出席、 他
行 事 費	20,000	13,000	▲7,000	5周年記念講演謝礼 支部ハイキング補助
雑 費	5,000	3,000	▲2,000	年会費ダブリ返金
予 備 費	35,000	0	▲35,000	
合 計	665,000	574,335	▲90,665	

(収入) (支出) (残金)  
《決算》 726,081 - 574,335 = 151,746 (平成17年度に繰越)

### — 会計監査報告 —

平成16年度の会計処理について、各帳簿と証拠書類とを照合監査の結果、いずれも適正に処理されており、決算報告書の通り相違ないことを認めます。

平成17年 月 日

会計監査 宇賀野政次 (印)

会計監査 竹内 昭夫 (印)



## ■ 第3号議案 平成17年度 会務計画

1. 平成17年度  
第7回定期総会
  - (1) 開催日時 平成17年6月12日(日) 13:00～
  - (2) 開催場所 八幡会館 市川市八幡4-2-1
2. 常任幹事会の開催 ● 年2回以上開催
3. 幹事会の開催 ● 年4回以上開催
4. 会報の発行 ● 年2回発行 第12号 平成17年10月  
第13号 平成18年3月
5. 会員名簿の発行 ● 平成17年8月に配付 イ. 県外会員を含めた名簿の発行  
ロ. 沼南町→柏市と合併
6. 地区懇談会の実施 ● 地区ごと又は一部合同して地区懇談会を開催し、会員相互の親睦と人間関係が図れるよう企画する  
※本年は松戸・柏地区懇談会を開催
7. 渉外活動の展開 ● 会員の増加と組織の充実を図ると共に、本部への協力、他支部との協力を図る
  - ① 県外会員への加入活動を図り会員増と組織の充実
  - ② 同窓祭(第20回)への参加
  - ③ 他支部定期総会への参加
  - ④ 「本部レクリエーション委員会」開催行事への積極的参加
8. 会務行事の企画 ● 支部の行事並びに研修会、レクリエーション等を企画する
  - ① 会員の親睦旅行、研修会を企画し会員相互の親睦を深める
  - ② レクリエーション(ハイキング・バーベキュー・ゴルフ、トレッキング等)を企画し、会員相互の体力の維持向上に努める
  - ③ 本部(レクリエーション委員会)、各支部との連携を深め、同好会への積極的な参加を促進すると共に育成に協力する

# ■ 第4号議案 平成17年度予算

## ● 収入の部

費 用	金 額	内 訳
前年度繰越金	151,746	
年 会 費	231,000	77名(予定)×3,000
本部助成金	124,000	
寄 付 金	5,000	
総 会 費 (懇親会)	290,000	本部・各支部(29名)東葛支部(31名)計60名出席予定
雑 収 入	254	
合 計	802,000	

## ● 支出の部

費 用	金 額	内 訳
総 会 費	290,000	懇親会費、資料作成
会報発行費	130,000	会報12号、13号印刷代
名簿発行費	0	発行済
会 議 費	20,000	幹事会会場使用料他
事務通信費	50,000	会報送付代、事務用品、切手他
渉 外 費	120,000	他支部定期総会出席他
行 事 費	30,000	ハゼ釣&バーベキュー大会 (ガス台・ガスボンベ代等)
雑 費	10,000	支部ハイキング補助他
準 備 金	100,000	10周年記念準備金
予 備 費	52,000	
合 計	802,000	



## ■ 第5号議案 東葛支部規約及び規約細則の一部改訂

<p>1. 平成17年度 第7回定期総会 1. 規 約 (会 員) 第5条</p>	<p>(1) 開催日時 平成17年6月12日(日) 13 時の入場 (2) 開催場所 八幡会館 市川市東葛4-2-1 費</p>	
<p>2. 常任幹事 3. 幹事会の組織 4. 文書(会則)請求書 5. 会費 6. 地区</p>	<p>4. 本会に名誉会員制度を設ける 名誉会員の資格は、本会に5年以上所属した会員のうち満75歳に達した者以上の会員とする (全文削除する)</p>	
<p>5. 会費 6. 地区</p>	<p>3. 名誉会員については年会費を免除することができる (全文削除する)</p>	
<p>7. 活動の展開 8. 会務行事の企画 9. 会費 10. 地区</p>	<p>5項を4項とする</p>	
<p>2. 規約細則 (名誉会員制度) 第5条</p>	<p>名誉会員の資格は5年以上所属した会員のうち、満75歳に達した者以上の会員とする 適用は満75歳に達した年度の翌年度から行う(規約第5条4項) (全文削除する)</p>	
<p>それに伴って第6条、第7条、第8条をそれぞれ第5条、第6条、第7条とする</p>		

## ■第6号議案 役員改選の件

顧問	永 峯 清 秀 (旧職) 《再》
1. 支部長	(日) 立 崎 作 次 (26C) 《再》
2. ①副支部長	高 橋 健 一 (29C) 《再》
②副支部長 (経理部長)	吉 田 勝 彦 (32E) 《再》
③副支部長	田 口 昭 (25E) 《再》
④副支部長	・坂 卷 実 (34M) 《新》
⑤副支部長	・高 木 昇 (36E) 《新》
3. 事務局長	木 間 英 一 (33C) 《再》
4. 地区長 (市川・浦安)	芝 田 康 雄 (28E) 《再》
地区長 (東京・神奈川)	鶴 岡 和 敏 (27E) 《再》
副地区長 (東京・神奈川)	左 氏 靖 雄 (29C) 《再》
5. ①常任幹事	鎌 形 武 久 (33C) 《再》
②常任幹事	滝 口 貞 一 (40E) 《再》
③常任幹事	・中 村 軍 治 (32M) 《新》
④常任幹事	・志 賀 薫 (32M) 《新》
⑤常任幹事	・石 井 健 治 (36M) 《新》
6. ①幹 事	前 原 睦 雄 (19E) 《再》
②幹 事	渡 辺 秀 男 (33C) 《再》
③幹 事	桜 井 一 三 (33M) 《再》
④幹 事	・富 田 博 (44M) 《再》
①地区幹事 (東京・神奈川)	土 屋 孝 夫 (34M) 《再》
②地区幹事 (東京・神奈川)	吉 田 典 昭 (34M) 《再》
地区相談役 (東京・神奈川)	豊 田 治 司 (20C) 《再》
7. ①会計監査	竹 内 昭 夫 (20C) 《再》
②会計監査	・伊 橋 潤 一 (27E) 《新》
(注：氏名前の・印は前大会後幹事会に図り選任した役員である)	
8. 退 任 者	
副支部長	住 田 敏 和 (31E)
常任幹事	松 本 十 九 三 (30M)
会計監査	宇 賀 野 政 次 (25E)
幹 事	寺 本 恒 雄 (33C)



## M34 同窓会



### 34M 土屋 孝夫

我らM34生は、高齢者社会に仲間入りした2005年、5年ぶりに同窓会が7月3日(日)、日蓮聖人誕生の地ここ小湊ホテル三日月において、初めての一泊で行われた。千葉県で青春時代を過ごした我らであるが、小湊は初めての訪問(かく言う私も初めてである)と言う人もおり、近くの誕生寺や鯛の浦等を見学しながら、遠くは静岡県浜松市、栃木県小山市から三々五々と仲間が集まってきた。初めての宿泊同窓会のため、参加者は26名とちょっと少なめであった。最近是一部の人たちの間で、メールでのやり取りにより、ハイキングや小旅行、仲間の絵の展覧会に行ったり、何かと交流が活発に行われているが、中には卒業後47年ぶりに会う人もおり、事業または会社勤めを継続している人、同窓会組織で幹部として活躍している人、趣味を生活の中に取り込んでいる人とさまざまであったが、大概の人は自由人として第二の人生を歩んでいる。風貌は変わっても、千葉工業高校で共に学んだ仲間達、会えば直ぐ何のこだわりもなく話し合えるのが嬉しい事だ。

会場で宴会の始まる前、本来はこの場所に同席したであろうと思われるが、今は亡きB組担任であ

った橋本先生及び同窓生5名の冥福を祈り、全員で黙祷をささげた。

幹事開会の宣言と共に宴は始まり、参加者一人ずつ近況や趣味等の披露となったが、数十年の経緯を短時間で話すのは難しい、中には余興の準備をされていた人もいたと思うが、時間切れで披露できず、その点では宴会が今一つ盛り上がり欠け残念であった。そして宴会の締めはお決まりの校歌斉唱、我々は津田沼校歌しか知らない人がほとんど、今は校舎もなく千葉工業の校歌は、生実校歌が正式なものであるとの意見もあり、今後の事もあって練習を兼ねての斉唱となった。唄の詩は変わっても、曲はどうして同じにできなかったのか、先輩も後輩も一緒になって歌える事が、まさに伝統を守っていく、一つの方法でもあるのではないかとふと感じました。

二次会を幹事部屋に移し、昔話や会場での話不足の歓談が続いたが、明日(4日)有志によるゴルフも予定されているため、10時半頃のおひらきとなった。

翌日は朝からの雨、朝食後ゴルフ組(10名)は皆と再会を約し、ホテル経営の勝浦ゴルフ倶楽部へと行ったが、雨足は変わらず全員で協議の結果、勇気ある賢明な判断で中止と決定した。

「雨降って地固まる」の例がある様に、益々M34仲間の結束は強固なものになると確信された今回の同窓会であった。

## 乾布摩擦の効果について



### 19E 前原 睦夫

今回、千葉工業の同窓会場におきまして、喜寿の祝福を、同窓会御出席の先生方及び同窓生の皆様の面前でして頂きました事は大変光栄に存じます。

在学中は痩せて顔色が悪く冬になると決まって風邪をひいていた私が、ここまで生き長らへた事は不思議な気が致します。

然しながらよく考えてみますと検見川校舎の寒風吹きすさぶ校庭で朝礼時に行った乾布摩擦効果

のお陰と今になってははっきりと思う様になりました。

現在でも、私は毎朝起きると四季を通じて乾布摩擦を続けております、それも今では“亀の子束子”を使ってそれこそ、足の底まで全身を擦っており、お陰様で千葉工業卒業以来、風邪を引いた事はございません、廻りの人が皆風邪を引いておる中で、私一人が風邪とは無縁でいる事は何か済まない感じがしたものです、以下にその効果の程を簡単に申し上げます。

1、私は過去三回、高血圧で倒れ救急車で病院に搬送され入院しましたが、後遺症は全く無く、無事に退院いたしました。



退院時担当の先生から「あなたの脳の何処かレントゲンでは写らない場所で出血しているはずです」と言われました。

- 2、平成六年、六十七歳の時、心筋梗塞で一ヶ月入院し心臓バイパス手術を受けましたが無事に退院する事が出来ました。

心臓手術前に、心臓のレントゲン写真の説明会

場で「あなたの心臓は奇跡です」と担当の先生に褒められました。

春先の今こそ乾布摩擦を始める絶好の季節と存じます「最初は処女の如く終には脱兔の如き勢いで」

爽やかな老後を過ごしましょう。

## 茶道の効用

44M 富田 博

お茶を飲む習慣は、私たち日本人の生活にすっかりしみこんでいます。

たとえば、休憩をとるとき「お茶にしよう」といいます。物事のはじめにはまず「一服」し、会や集まりは「お茶でおひらき」になり、酒席もお茶で「あがり」になります。このほか「お茶漬け」「お茶うけ」「お茶のみ友だち」「お茶に呼ばれる」とたくさんの慣用語が生まれたのも、お茶が生活に密着しているからでしょう。私たちが普段飲んでいるお茶は煎茶に代表されるように茶葉から入れるものです。その点、茶の湯は粉末を用いるので、掛け離れているような印象がありますが、お茶をたしなむという点で、本質的に違うものではありません。そもそもは茶の湯の土壌があったために、それが日常化されて、煎茶をたしなむ風習が生まれたともいえるのです。茶の湯(茶道)をはじめると、どのような効用があるのか、いくつかの例を書きます。

### 1、社会生活に必要なマナーが身につく。

茶の湯は一服のお茶をたて、それをいただくという大変シンプルな所作ですが、それは人間と人間の理想的な関係の在り方を示すモデルケースになっているともいえます、ですから、お稽古によって身についた茶の湯の作法や心得は電車の中でのエチケット、会社での上司や同僚との付き合い、友達との交際、家族との生活といったように、何処に持ち出しても応用がきき、自然に社会生活に必要なマナーを身につけることができます。

### 2、動作が美しくなる。

座る、お辞儀をする、立つ、歩く、物を持つ、取るというように茶の湯の一つ、一つの動作は無駄なく、非常に合理的にできています。一見そららしく見



える作法も、実は余分な動きをすべて整理しつつして、必要なものだけに絞って成り立っ

ているのです。お稽古によって、そうした動きが身につくと、自然に姿勢がよくなり、普段でも美しい動作ができるようになります。

### 3、ストレスが解消する。

現代人の生活はとにかく忙しく、気がつくといらいらいしていることもよくあります。静かな茶室でのお茶の湯のお稽古は、日常の自分を見直すきっかけにもなり、落ち着いた精神を取り戻すには最適です。お稽古の快い緊迫感は、かえってストレス解消につながります。

### 4、感性が豊かになる。

毎日の生活の中で、四季の変化を味わえる機会が少なくなっています。茶の湯では、四季折々の季節感を大切に、細やかな気配りしますから、お稽古をすることで、とく忘れがちな四季の移り変わりを感じることが出来るようになり、豊かな感性が養われます。

### 5、広い視野を養える。

茶の湯では道具を大切に、茶席の話題にしますから、焼き物、塗り物といった美術品に自然に親しむことができ、知識も広がります。また、掛け軸、茶花、茶室の作りなど、日本の伝統的な文化、歴史にも強くなり、視野を一段と広げることができます。

このように、我々の生活の中に、茶道を取り入れる事により、いろいろな効用があります。会員みなさまの中で茶道を習っておられる方、教えている方が、(奥様も)おられましたら一緒に、お茶会を開きませんか、きっと楽しいお茶会になるとおもいます。

干渉会の中にある、  
お稽古茶室で



## 東葛ウオッチング.....

支部会報2号から始まりました、東葛ウオッチングも今回の、その12「浦安市」を掲載しまして完了です。

### その12「浦安市」

浦安市は三方を海と川に囲まれた、かつては漁業中心の小さな町でしたが、昭和40年代から始まった埋立事業によって4倍近い、土地が広がり、町は大きく変化しました。昭和44年には、地下鉄東西線が開通し、昭和58年には舞浜地区に「東京ディズニーランド」が開園、それに伴い大型ホテルやショッピング施設、多目的ホールなど建設され、一気に都市化、国際化が進展しました。時代は昭和より平成に入り、JR京葉線が開通し、海に向かって埋立が進み、明海地区には、高層マンションが目立ち東京湾の新しいベイエリアとして、さらに発展が期待される、新旧の町が点在する地域です。

#### 元々は漁師町

今でも東西線浦安駅方面の元町エリアには、漁師町を残す面影があり、市内を東西に流れる境川には船が浮かび、旧江戸川沿には船宿が、今でも軒を連ねています。市民図書館裏にできました、市郷土博物館には浦安の、昔の町並みが“写真”の様に復元されています。又、浦安は漁師町だけに今でも、焼きハマグリ、焼きアサリなどが有名で、ハマグリ、アサリの身を串刺しにして焼き、甘い醤油のタレを漬け、見かけは小ぶりでも、ふくよかな肉身と伝統がほどよい風味を醸し出す逸品です。

#### 東京ディズニーリゾート

子供にも、大人にも人気のあるリゾート施設はなんと言っても、ここ浦安の舞浜地区にある、東京ディズニーリゾートではないでしょうか、外国からの観光客も多く、平日でも大混雑です。東京ディズニーリゾートでは遊ぶこと、泊まること、食べること、ショッピング、そして語り合い、すべてが、エンターテインメント。2つのテーマパーク、

「関宿町」から始まり、野田市、流山市、柏市、我孫子市、沼南町、松戸市、市川市、今回の浦安市と江戸川を下り、各市町の名所、旧跡を御案内してまいりましたが、いかがでしたでしょうか。

今後も、このような地域密着の企画を取り入れたいと思いますので、会員の皆様のご意見・投書を期待しています。



バラエティに富んだショッピング施設の数々、2つのディズニーホテルを中心とした宿泊施設、それぞれに個性的な

テーマを持った施設が集まり、都市に隣接する新しい滞在型のテーマリゾートとして成長しつづけています。

#### 浦安運動公園

日本で最も有名なテーマパークの隣にあります運動公園、“写真”の様に浦安の海の波を、イメージした建物です。その中にあります、屋内水泳プールは、子供から、お年寄りまで、泳げる人も、泳げない人も、誰もが気軽に水に親しみ、楽しみながら心身の健康を保持・増進できるよう多様なプール機能を備えた通年型の温水プールです。25メートルプール、可動床式の多目的プール、いろいろな種類の健康プール、リハビリプール、屋外プール(夏期のみ)などがあり、4階には浴室、サウナ(別料金)もあります。



#### 明海大学

浦安でも、もっとも発展が目覚ましい明海地区、高層マンション、商業施設、文教地区としても発展している所です。その中でも、明海大学は学生だけの大学ではなく、オープンカレッジを通じて大学の教育機関機能をはじめ諸施設を積極的に市民に開放し「真の生涯学習社会づくり」に取り組んでおります。オープンカレッジにはいろいろな講座があり、「教育・教養」「実務・ビジネス」「生活・趣味」「健康・スポーツ」など、広い分野にまたがり、健康で知性と教養に満ちた「より豊かな人生をめざして」をテーマに明海大学は努力しています。





## 東葛支部会報編集責任者引継のご挨拶

東葛支部発足以来、長く会報の編集をお願いしておりました、住田敏和さんが、この程、浦安市から大網白里町に転居されまして、それに伴い会報編集責任者が代わりました。

ほんとうに長い間、編集責任者としてご苦労様でした。住田さんが転居され会報編集

メンバーとしては、大黒柱を失い心細い心境ですが、これからも住田さんが作られてきました会報を引継、会員の皆様に楽しく役立つ会報を目指して行きたいとおもいます。

(原稿よろしくおねがいします)

34M 坂巻 実

## ● 皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい ●

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員のなかで一応の担当者を決めてあります。会員の皆様のご趣味・得

意な分野・特技などを把握し、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。趣味や得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

- |            |       |                            |                  |
|------------|-------|----------------------------|------------------|
| ● ゴ ル フ    | 櫻井 一三 | 〒279-0022 浦安市今川4-8-7       | TEL.047-352-5569 |
| ● ハイキング    | 木間 英一 | 〒270-0002 松戸市平賀125-10      | TEL.047-343-0455 |
| ● 囲碁・麻雀    | 高橋 健一 | 〒270-0157 流山市平和台5-400      | TEL.04-7159-9367 |
| ● スーパー紙とんぼ | 鎌形 武久 | 〒270-2241 松戸市松戸新田21-3      | TEL.047-364-5084 |
| ● 茶 道      | 富田 博  | 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516 | TEL.047-393-0850 |

## 今後の予定

### ●当支部の予定

10月30日(日)

- ハゼ&バーベキュー大会  
東西線・妙典駅下車 江戸川河川敷

11月22日(火)

- ハイキング同好会  
JR久留里線・上総亀山駅下車

12月13日(火)

- 平成17年度忘年会(場所:未定)

### ●本部・他支部の予定

9月28日(日) 京葉支部

- 第1空挺団&郷土資料館見学

10月22日(土) 本部

- 第10回麻雀大会  
千葉駅前・麻雀太郎

12月8日(日) 本部

- ハイキング同好会  
JR和田浦・烏場山、花嫁街道



## 新入会員募集と入会手続きについて

東葛支部では、会員を増やしてどんどん組織を大きくしていきたいと思っています。このため、役員の中に「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

1. 入会資格 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、ならびにかつて同校に在勤、在学していた方で支部長が認めた方。  
東葛地域に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。
2. 会 費 年会費 3,000円
3. 入会手続 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

## 支部会報第13号の原稿募集

東葛支部会報第13号の原稿を募集します。

1. 発行予定 平成18年3月
2. 原稿締切 平成17年12月
3. 内 容 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ・イベント報告 等、何でも結構です。
4. 投稿方法 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX(自動受信)・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
5. 投稿先 編集委員長 坂巻 実 〒277-0921 柏市大津が丘2-4-1  
TEL:04-7191-5927 E-mail:minoru.sakamaki@jcom.home.ne.jp  
編集委員 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516  
TEL:047-393-0850 E-mail:atsuko19@io.ocn.ne.jp

東葛支部会報

第12号

発 行	平成17年12月1日
発 行 者	千葉工業同窓会 東葛支部
発行責任者	支 部 長 立 崎 作 次
事 務 局	事務局長 木 間 英 一
編集責任者	編集委員長 坂 巻 実